

万博×環境 未来を描こうプロジェクト 2020年度 第1回 ミーティング 議事録

[日 時] 2020年10月20日(火) 18時～20時30分

[会 場] オンライン会議システムを利用したオンライン会議形式
(おおさかATC グリーンエコプラザのZOOMシステムを利用)

[参加者] チームメンバー10名、スタッフ・関係者4名

[概 要] 2025年大阪・関西万博に向けて、多くの若者(16～29歳)から、実現して欲しい環境・まちづくり等のアイデアを集約、発信するため、令和元年度に立ち上げた「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」における更なる検討を進めるにあたり、令和2年度も引き続き、新たなメンバーを加えて、第1回ミーティングを開催した。

これからチームで動いていくため、プロジェクトの趣旨説明から始まり、メンバーの自己紹介や、提言アイデアの実現に向けて考えられる進め方の案出しを行った。ミーティングは今回を含めて4回程度開催予定。その間、グループ内での検討も行っていただく。

- [次 第]
1. プロジェクトの趣旨説明・今後の流れ説明
 2. 全体で自己紹介／アイスブレイク
 3. ワークショップ「アイデア実現に向けての進め方を考えよう！」
 4. ワークショップ結果の共有
 5. 事務連絡

1. プロジェクトの趣旨説明・今後の流れ説明 (大阪府から説明)

① プロジェクトの趣旨説明

「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」は、6年後の2025年大阪・関西万博に向けて、多くの若者(高校生・大学生等)から、実現して欲しい環境・まちづくり等のアイデアを集約、発信するプロジェクトです。

先日8月26日にとりまとめたアイデア集を発表する、「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」アイデア発表会をオンライン開催し、日本国際博覧会に提言アイデア集をお渡しさせていただいたところです。

令和2年度も引き続き、本プロジェクトのチームメンバー募集し、メンバーを新たに加え、アイデア実現に向けて、手法や課題について、企業や関係団体等の協力を得ながら、さらに検討を進めていきます。

2025万博の概要と2025万博までの大まかな流れを説明しました。(パワーポイント資料を用いて)

② 今後の流れなどの説明

今回のミーティングを含め、4回程度皆で集まるミーティング(リアル or WEB or 併用)を行うとともに、その間でグループ別に検討を進めてください。

2月頃に発表・有識者や企業等との意見交換会を兼ねたイベント、来年度6月環境月間で多くの府民や企業等を集めた発表の場を設ける(オンラインもしくはリアル・WEBの併用)予定です。

検討の過程で、有識者へのヒアリング、アイデアや資金などの実現力を持ち、若者といっしょに実現・発信したい、若者アイデアを採用したいという企業や団体と話し合っパートナーになってもらいます。場合によっては、関係企業に対象アイデアの検討グループに入っただき、連携して検討してもらっことも想定しています。

大阪府はプロジェクトの事務局を担っているが、主体的に動くのはチームメンバーである皆さんです。当プロジェクト検討チームが検討を進めていくにあたり、大阪府から様々なサポートをさせていただきます。「こんなことをしたい」「このように動きたい」等の提案をしていただければ、それに沿ってサポートします。

ミーティング開催にあたり、会議室の確保やメンバーへの連絡等を通じて、検討の場を提供します。経費のサポートはありません。

実現に向けては、アイデアを若者メンバーと一緒に実現・発信したいという企業や団体との連携が必要です。連携先の発掘のため、アイデア発表会の開催等、発信の場を提供します。大阪府の広報媒体（SNS、プレスリリース等）を活用して、募集やイベント等の広報を行うことができるので、適宜活用してください。

そして、連携いただく企業や団体との連携機会の創出を支援します。

このような検討→発信→パートナー探しというサイクルを回してサポートします。

2. 全体で自己紹介／アイスブレイク

① 全体で自己紹介／アイスブレイク

全体でメンバーの自己紹介を実施しました。加えて、名前と顔を少しでも早く一致させるとともに、ZOOM 会議システムの操作に慣れていただくため、ブレイクアウトルーム（ZOOM ミーティングメンバーを別々のセッションに分割したもの）に分かれて、ブレイクアウトを組みなおしながら、色合わせ（※1）と四つの窓（※2）というアイスブレイクを実施しました。

※1.色合わせは、司会が指定した色のものを部屋の中から探し出して、グループ内で共有するもの。

※2. 四つの窓は、紙を用意してもらい、4つに折る。4つに折ってできた、4つのスペースに以下の内容をそれぞれ記入して、グループで共有するもの。

- ・名前（あだ名）・所属・最近ハマっていること・万博 2025 に向けての意気込み

3. ワークショップ「アイデア実現に向けての進め方を考えよう！」

アイデア実現に向けての進め方を考えるため、グループごとにブレイクアウトルームに分かれて以下の内容でワークショップを開催しました。

《これまでのアイデアを共有しよう》

- ・昨年度のメンバーから昨年度のアイデアを説明
- ・新メンバーから質問
- ・新メンバーから、どんなことを実現したくて参加したのかを共有

《アイデアを考えてみよう！》

- ・アイデア実現に向けて考えられるアイデアの洗い出し

4. ワークショップ結果の共有

ワークショップで話し合った内容について、全体ミーティングに戻って全員で共有しました。

《A グループ》

- ・昨年度のメンバーからまちづくりに関するアイデアと 3R をテーマにしたアイデアについて説明した。
- ・環境に関心のあるメンバーのほか、まちづくりや教育という観点から関心のあるメンバーの意見が出た。
- ・VR を活用していくことがキーワードとして出た。

《B グループ》

- ・昨年度のメンバーからサスティナブルポイントをはじめとしたアイデアを、先日のアイデア発表会のプレゼン資料をもとに説明した。
- ・新メンバーもアイデアに興味をもち、質問が出るとともに、新たなアイデアも提言していきたいという意気込みを発言した。

《C グループ》

- ・昨年度のメンバーから「けんめいぼうさい」というアイデアを説明した。
- ・新メンバーからは、地域防災という観点に加えて、国際的な視点から、どのように災害の被害を小さくしていくかという観点も重要という考えが出た。若者のリーダーシップが重要という点にも合意。

5. 事務連絡

次回の全体ミーティングまでに、各グループで話し合いの場を設けて、アイデアの実現に向けて会議をしてもらいます。

そのために、再度ブレイクアウトルームにて、各グループで次回集まる日程を決定しました。

今後のチーム間のやり取りをスムーズにするために、連絡手段として **LINE** グループを導入することに決定しました。(第1回ミーティング欠席者には別途案内し、グループに加入)。